



# 給食だより

平成31年1月第60号  
大東市教育委員会  
学校管理課  
Tel 870-9102



小学校で有名な  
大東市の食育  
キャラクターの  
トマッピーです

新しい年の目標は立てていますか？今年もよく食べ、よく学び、よく体を動かし、夜はしっかり休んで健やかな心と体で成長してほしいと思います。1月は「全国学校給食週間」があります。毎年いろいろな形で学校給食について考える週間として制定されています。

## 全国学校給食週間 1月24日～30日

### 学校給食のはじまり

明治時代、山形県鶴岡市で昼食を持参できない子どもたちのために、おにぎりや魚・漬物を用意したのが始まりです。その後、徐々に全国に広まりました。

### 戦争により中断、そして再開

昭和19年、戦争が激しくなって食糧事情が悪くなり、学校給食は中断されました。戦後、食糧難で栄養失調や病気にかかる子どもがたくさんいました。そのような子どもたちを救おうと、ユニセフやララ(アジア救済公認団体)を通じて、海外から小麦粉や脱脂粉乳などの食糧が送られてきました。これらの物資のおかげで、昭和21年(1946年)12月24日に学校給食が再開されました。このことを記念して12月24日を学校給食感謝の日としました。

### 全国学校給食週間

冬休みと重なるため1ヶ月遅らせた1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とし、今は豊かになった日本ですが、かつて世界の人々からの温かい支援によって多くの子どもたちが救われたことを忘れず、食べ物に感謝する豊かな心を育む機会として、学校給食の役割について改めて考える一週間です。



### 大東市の学校給食

昭和25年から46年ごろの、大東市の学校給食の様子が伺える貴重な記録が残っています。学校給食は、日本の学校教育の歴史と共に歩んで来ました。

(昭和五十七年七月給食だより創刊号より)  
大東市の学校給食の歩み(一)  
給食調理員一号の方の話  
「初めの頃はふりかえって」  
当時(昭和二十五年ごろ)、四条町・住道町・南郷村がまだ大東市に合併しない時で、唯三校だけで、ミルク(脱脂粉乳を溶かしたもの)だけの給食が始められました。給食室には、おくどさん(竈)に五右衛門風呂のような釜と、週一回の味噌汁給食のための平釜が座り、そのそばには薪が積まれ、※十能・火ばし・火吹竹等があつて、のんびりとした風景といましようか、ささやかな学校給食の始まりでした。物置には大きな醤油ダレと味噌桶が並び、調理台の上には厚さ五センチメートル、巾四〇センチメートル、長さ一メートル以上ある、まな板が置かれていました。そして調理室には毎日PTAの方々が、交替で手伝いに来られ、白衣のなかった私達と区別がつかないものでした。こうしたミルク給食から今や米飯給食も導入され、献立の中心を充実させながら、時代にそって着実に大きく進んできました。(中略)  
薪が姿を消して石油バーナーにかわる頃、脱脂粉乳が生牛乳に、コッペパンが種々な型になっておいしくなり、週四日も五日になって完全給食となりました。」  
※十能：炭や灰を運ぶためのスコップのような物

給食の様子はずいぶん変わりましたが、給食がみなさんのもとに届くまでには、実に多くの人たちに支えられています。昔も今も、学校給食に携わる多くの人たちは、学校給食を通して子どもたちが心身ともに健やかに成長すること願っています。



## 新献立の試作実習をしました！

今年度2回目の中学校給食の新献立試作実習を、12月14日に大東市立保健医療福祉センターの栄養実習室で実施しました。

調理業者の(株)松ちゃん給食と(株)万福の調理員さんたち7名と、中学校栄養教諭2名、教育委員会栄養士4名の合計13名で、3班に分かれて23点の献立を試作し18点が採用されました。

塩分控えめでおいしいメニューや冷たいサラダなど、どれもおいしく仕上がりました。

来年度以降になりますが、新献立として登場しますので楽しみに。

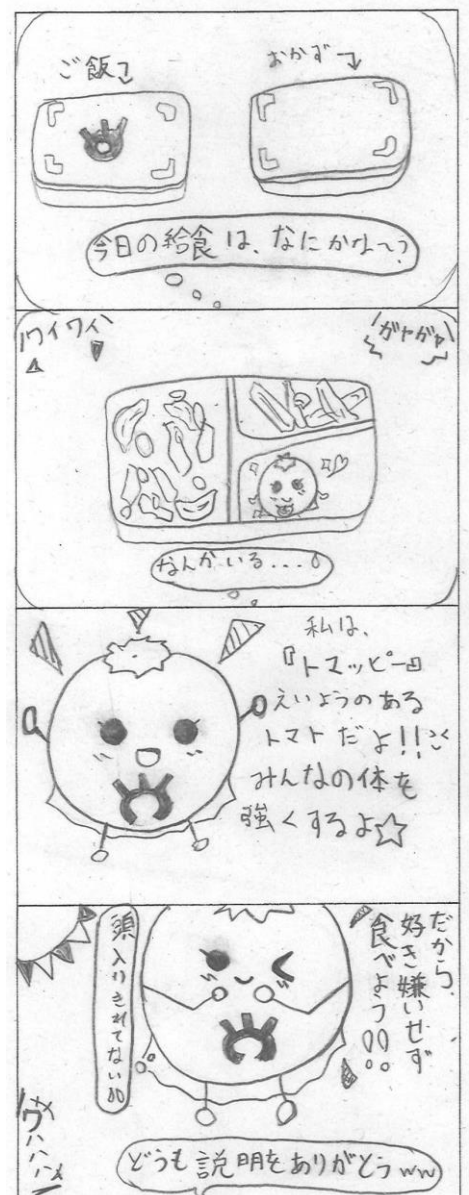
(採用になった新献立の一例)

- ★たこ焼きコロック★大豆ナゲット★豚肉のバーベキューソース
- ★鶏肉とじゃがいものトマト煮★牛肉と切干のしょうが炒め
- ★白身魚のみぞれあん★大豆と豚肉の甘辛煮★わかめうどん
- ★そばろふりかけ★ささみと切干大根の和え物(冷菜)
- ★春雨の甘酢和え(冷菜)★フジッリサラダ(冷菜)



## トマッピー 4コマ劇場

トマッピーは平成22年に大東市の食育キャラクターとして誕生したよ。



ペンネーム ミキ (南郷中1年)